

明治七年四月十日於外務省上野外務少輔魯國代理公使エウケニヒユツオフハ應接記之内

爰ニ私事ヲ閣下ハ御尋申度事アリ

一 今般臺灣ハ軍ヲ向ケラルハ趣風説アリ
右支那政府ニ而承知之事ニ候哉同政府ニ
義和之事ナレハ宜敷存候不然レハ我國之
船舶等御雇相成度時者職掌ニ於テ相拒ミ
可申筋ナレハ也

一 昨年副島氏支那ハ出向之節粗談判ニ相成居
且我國人彼地ハ漂着之節暴逆之所為ヲ受候故

其罪ヲ問ノミニテ兵端ヲ開ク之趣意ニハアラ
ス且兵卒ヲ附屬セシムルハ今般西卿氏出發相
成候ニ付先年ノ如キ危難無之様其人ヲ保護ス
ル為ニ有之戦争之趣意ナラス
右同様之意味之書簡ヲ英公使ヨリ貴下へ受取
ニナリタルベシ

一然リ

一公然御布告ニ不相成ハ如何

一若シ此度人數渡航之上彼ニ於テ再々暴行ヲ
ナシ弥戦争ニモ及事ニ至ラハ何トカ報知ス

ハキ事アルカモ難事未タ公然ト布告スベキ
事ニアラス

一我國モ各國モ同様支那ト交際ス彼地ニ
於テ交際上難事起リ候カモ難事存候也

一臺灣ハ生蕃熟蕃其數多ク區分アリ今般参リ
候地ハ各國人居留地ニ關係ナキ地ニシテ且
支那政府之法令モ不被行所ナリ

一此事ハビニツラフ通報ニ遣シ度存候同人
兼知致シ居候ハハ又便宜ノ事モアルベク
存候也

一 今般柳原公使彼地へ参り候へハ同氏ヨリ通
報スベシ

明治七年四月十日於外務省并島外務部英國公
使ハリスバリス應接記之内

外務部

昨九日附貴翰ヲ以台湾に出師之儀ニ付則右御
回答トシテ四月十日附第四号御返簡ヲ公使渡具台湾繪圖ヲ指示シテ
以駐寮港ト申處ハ碇泊スル事難ク故ニ氣候ノ
宜處ヲ待テ今日人ヲ派遣スル事ニ決セリ尤貴
國及ミ米國船共ニ二艘ヲ雇ヒ人ト糧仗トヲ積
込候筈尤長ク碇泊ハ不及